

## Salesforce FIDO キーの設定方法

---

Salesforce の多要素認証は 2022 年 2 月 1 日以降必須化と公表されております。弊社の FIDO キーは Salesforce と連携し、多要素認証 (MFA) を実現できます。

本資料は、Windows10 の環境で、Salesforce へ FIDO キーの追加及び設定方法を説明します。

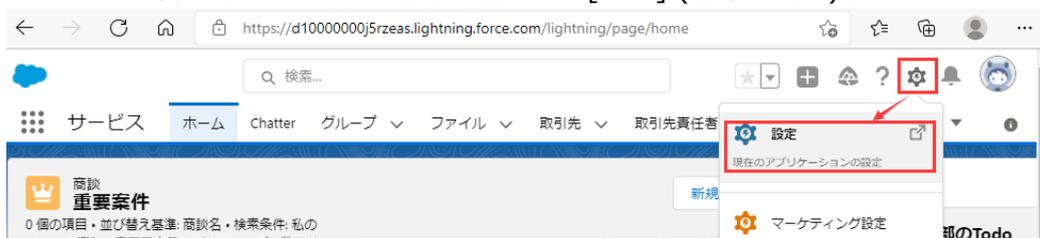
下記目次のとおりで説明します。

<b>1. 事前準備</b> .....	<b>2</b>
1.1. U2F セキュリティキーの有効化 (Salesforce 管理者側) .....	2
1.2. 各ユーザーに FIDO キーを配布 .....	2
<b>2. 設定方法 (Salesforce 管理者側)</b> .....	<b>3</b>
2.1. ログインユーザーに多要素認証を設定 .....	3
<b>3. 利用方法</b> .....	<b>6</b>
3.1. 各ユーザーが利用する FIDO キーの登録 (初回のみ) .....	6
3.2. FIDO キーで Salesforce 登録 (2 回目以後) .....	10
<b>4. よくある質問</b> .....	<b>11</b>
質問 1 : セキュリティキーを登録する際に、「使用できません」エラーが発生 .....	11
質問 2 : FIDO キーが紛失した場合は、どうすれば良いでしょうか。 .....	12
質問 3 : FIDO キーと [Salesforce Authenticator] を併用可能でしょうか？ .....	12

## 1. 事前準備

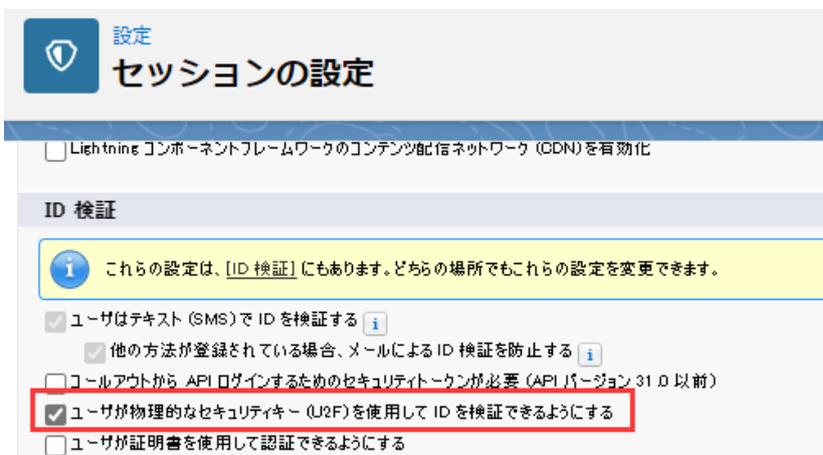
### 1.1. U2F セキュリティキーの有効化 (Salesforce 管理者側)

1、Salesforce 管理者でログイン後、画面右上にある [設定] (歯車アイコン) をクリックします。



2、[クイック検索] ボックスに「セッションの設定」を入力し、[セッションの設定]を開きます。

3、[ユーザが物理的なセキュリティキー (U2F) を使用して ID を検証できるようにする] を選択して、保存します。



### 1.2. 各ユーザーに FIDO キーを配布

各ユーザーに利用する FIDO キーを配布してください。

※ 弊社が検証した FIDO キーの型番は「A4B」と「K45」です。



A4B



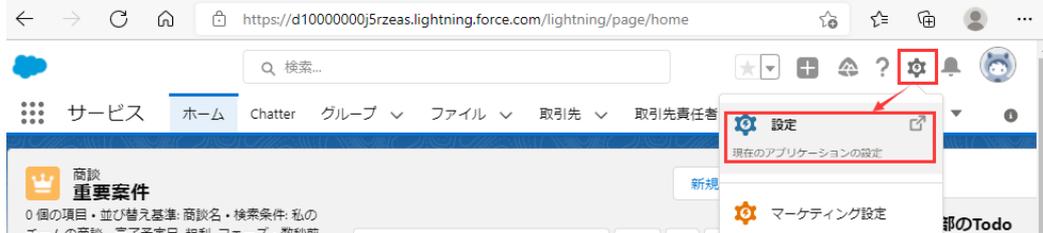
K45

※ FIDO キーの裏面に番号が印字されます。管理しやすいため、ユーザーと FIDO キー番号の一覧を作成して方がお勧めします。

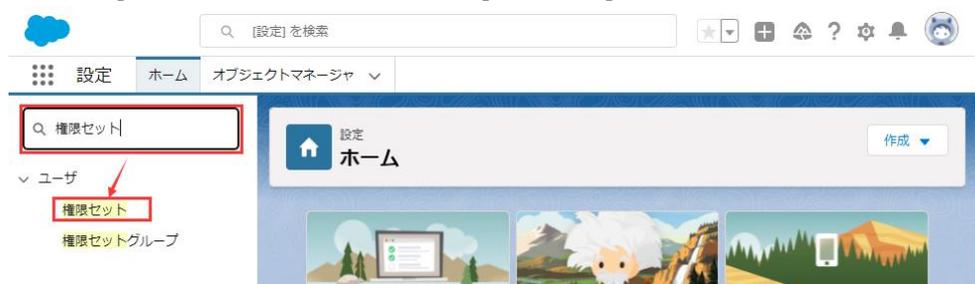
## 2. 設定方法 (Salesforce 管理者側)

### 2.1. ログインユーザーに多要素認証を設定

4、Salesforce 管理者でログイン後、画面右上にある [設定] (歯車アイコン)をクリックします。

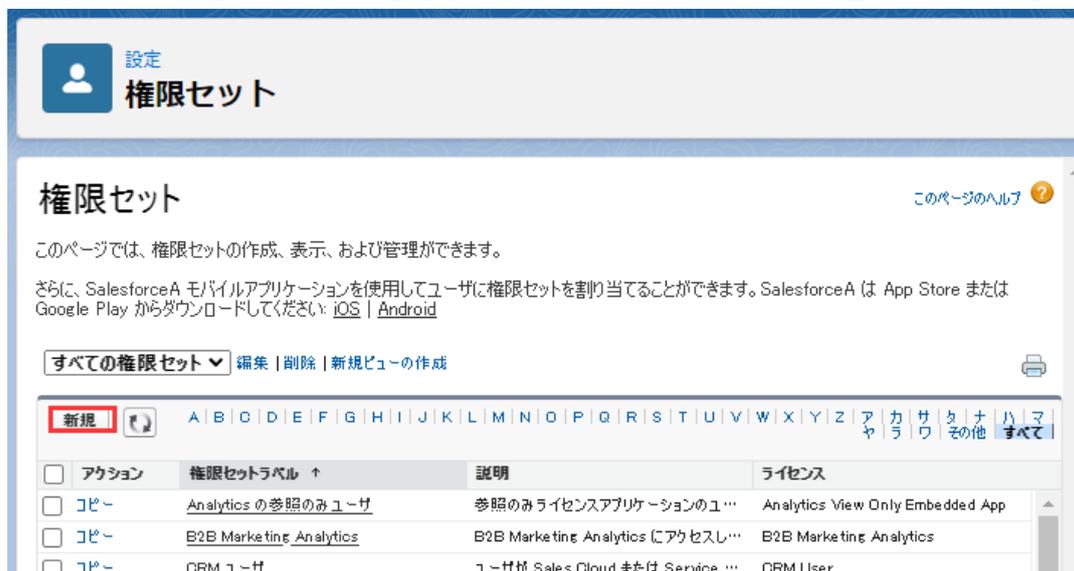


5、[クイック検索] ボックスに「権限セット」と入力し[権限セット]を開きます。



6、新しい権限セットを作成する場合は、[新規] ボタンをクリックします。

※当該ユーザーに適用する既存の権限セットを設定する場合は、このステップをスキップしてください。



例：MFA\_Testを入力し、[保存]をクリックします。

7、システム欄の [システム権限] のリンクをクリックします。

8、[編集]ボタンをクリックします。

権限の名前	有効	説明
[設定] でデータカテゴリを表示	<input type="checkbox"/>	[データカテゴリ] ページを表示します。
[表示先] リストを非表示	<input type="checkbox"/>	投稿の閲覧者の数と名前を非表示にして、非公開グループのプライバシーを向上させます。
AI インサイトオブジェクトの作成	<input type="checkbox"/>	インサイト、値、理由、フィードバックなど、AI レコードインサイトに関連付けられたオブジェクトを作成します。

9、[ユーザインターフェースログインの多要素認証]をチェックし、[保存] をクリックします。

権限セット MFA\_Test このページのヘルプ ?

設定の検索... | コピー 削除 プロパティを編集 割り当ての管理

権限セット概要 > システム権限

システム権限 保存 キャンセル

▼ システム

権限の名前	有効	説明
[設定] でデータカテゴリを表示	<input type="checkbox"/>	データカテゴリ ページを表示します。
[表示先] リストを非表示	<input type="checkbox"/>	投稿の間覧者の数と名前を非表示にして、非公開グループのプライバシーを向上させます。
省略		
ユーザインターフェースで多要素認証を管理	<input type="checkbox"/>	ユーザインターフェースのツールを使用して多要素認証を管理し、ユーザサポートを提供します。
ユーザインターフェースログインの多要素認証	<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザは Salesforce 組織にログインするときにユーザ名とパスワードに加えて他の検証方法を提供する必要があります。
ユーザに非公開接続の変更を許可	<input type="checkbox"/>	メタデータ API、Tooling API、および Connect API を使用してユーザが非公開接続を変更できるようにします。

10、確認画面を確認し、[保存] をクリックします。

権限変更確認

これらの権限を保存しますか？

権限を確認したうえで続行してください。これらの権限は組織のセキュリティおよびユーザエクスペリエンスに影響する可能性があります。

有効

アプリケーション権限	システム権限 ユーザインターフェースログインの多要素認証	オブジェクト権限
------------	---------------------------------	----------

無効

アプリケーション権限	システム権限	オブジェクト権限
------------	--------	----------

保存 キャンセル

11、[割り当ての管理] ボタンをクリックします。

権限セット MFA\_Test

設定の検索... | コピー 削除 プロパティを編集 **割り当ての管理**

12、[割り当てを追加] ボタンをクリックし、利用するユーザをチェックし、[割り当て] をクリックします。

割り当てられたユーザ  
MFA\_Test  
このページのヘルプ ?

< 戻る 権限セット

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ワ | その他 **すべて**

**割り当てを追加** 割り当てを削除

氏名 ↑	別名	ユーザ名	最終ログイン	ロール	有効	プロフィール	マネージャ	有効期限
表示するレコードはありません。								

**割り当てを追加** 割り当てを削除

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ワ | その他 **すべて**

**編集** 飛天ジャパン(株)技術サポート

ページ毎の表示件数を **減らす** ▲

**割り当て** キャンセル

### 3. 利用方法

#### 3.1. 各ユーザーが利用する FIDO キーの登録（初回のみ）

1、各ユーザーが Salesforce のログイン画面でユーザ名とパスワードを入力して、ログインします。

https://login.salesforce.com/?locale=jp

salesforce

ユーザ名

パスワード

.....

**ログイン**

ログイン情報を保存する

2、下記画面が表示される場合は、[別の検証方法を選択] をクリックします。



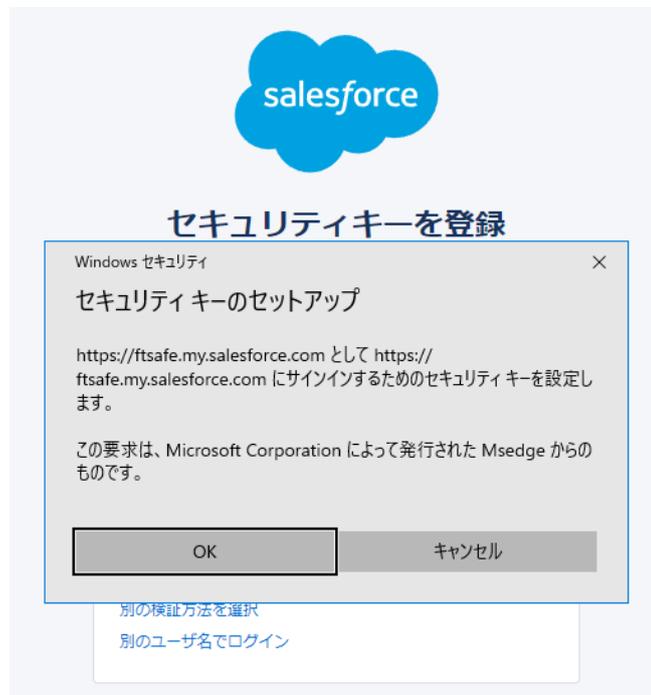
The screenshot shows a screen titled "Salesforce Authenticator を接続" (Connect Salesforce Authenticator). At the top is a blue padlock icon with a white checkmark. Below the title is a text block explaining that for security, users need to connect the app and that they can use a one-time tap for verification. It also mentions that users can use the app for automatic verification in trusted locations. Below this is a numbered list of three steps: 1. Download from the App Store or Google Play, 2. Open the app and add the account, 3. Enter the two-step verification code. There is a text input field for the code, a "キャンセル" (Cancel) button, and a blue "接続" (Connect) button. At the bottom left, there is a red-bordered button labeled "別の検証方法を選択" (Select a different verification method).

3、 [Universal Second Factor (U2F) キーを使用] を選んで、 [次へ] ボタンをクリックします。

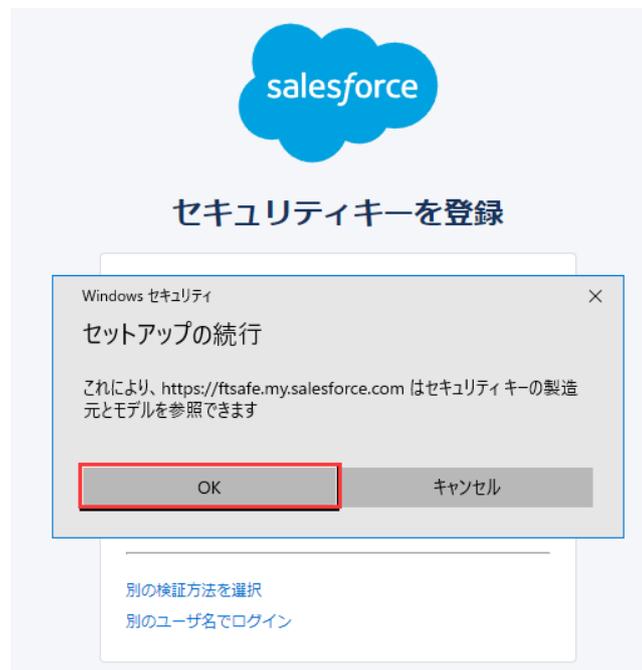


The screenshot shows a screen titled "検証方法を選択してください" (Please select a verification method). At the top is the Salesforce logo. Below the title is a question: "IDをどのような方法で検証しますか?" (How do you want to verify your ID?). There are three radio button options: "Salesforce Authenticator モバイルアプリケーションを使用" (Use Salesforce Authenticator mobile application), "Universal Second Factor (U2F) キーを使用" (Use Universal Second Factor (U2F) key), and "認証アプリケーションからの確認コードを使用" (Use confirmation code from authentication application). The "Universal Second Factor (U2F) キーを使用" option is selected and highlighted with a red box. A red arrow points from this option to a blue "次へ" (Next) button at the bottom, which is also highlighted with a red box.

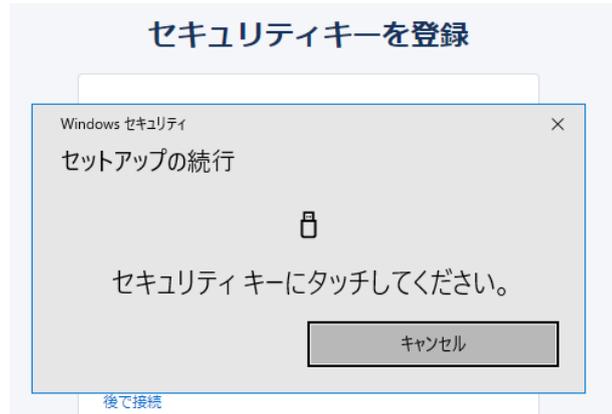
- 4、 [セキュリティキーを登録] 画面が表示されます。FIDO キーを接続して、 [OK] をクリックしてください。



- 5、 下記画面が表示される場合は、 [OK] をクリックしてください。



- 6、 [セキュリティキーにタッチしてください] 画面が表示されたら、FIDO キーにタッチしてください。



- 7、 正しく登録されたら、[登録成功] 画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。

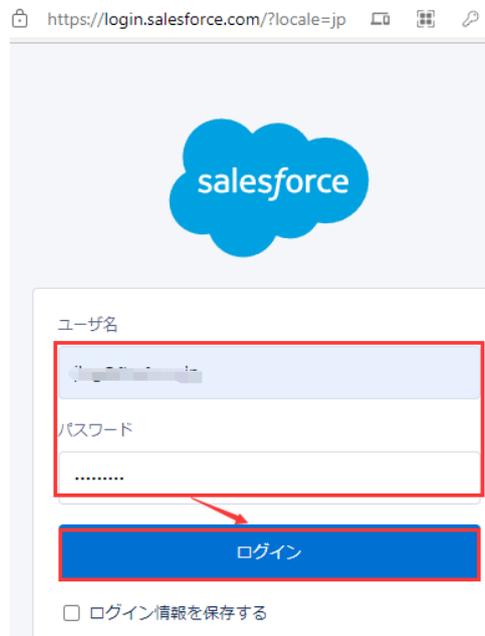


- 8、 Salesforce の画面が表示されます。

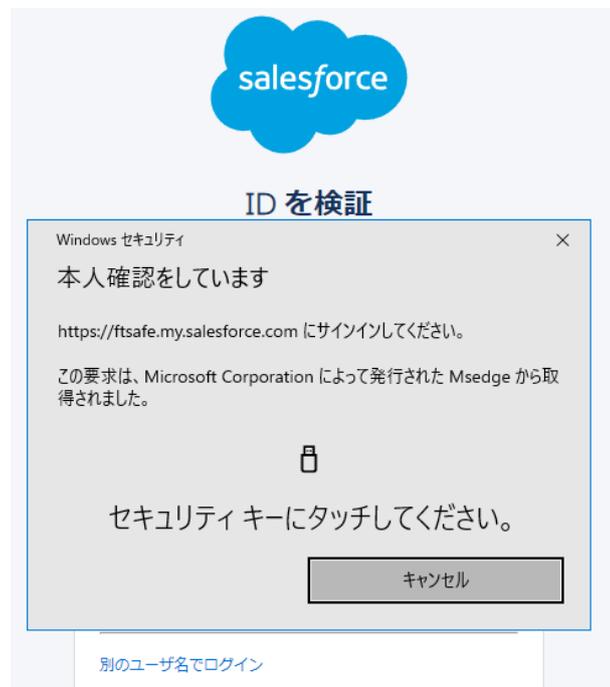
### 3.2. FIDO キーで Salesforce 登録（2 回目以後）

1、各ユーザーが Salesforce のログイン画面でユーザ名とパスワードを入力して、ログインします。

※この画面に、FIDO キーをタッチしないでください。



2、下記画面が表示されますので、FIDO キーをタッチしてください。



3、正しく検証できたら、Salesforce の画面が表示されます。

## 4. よくある質問

### 質問 1：セキュリティキーを登録する際に、「使用できません」エラーが発生

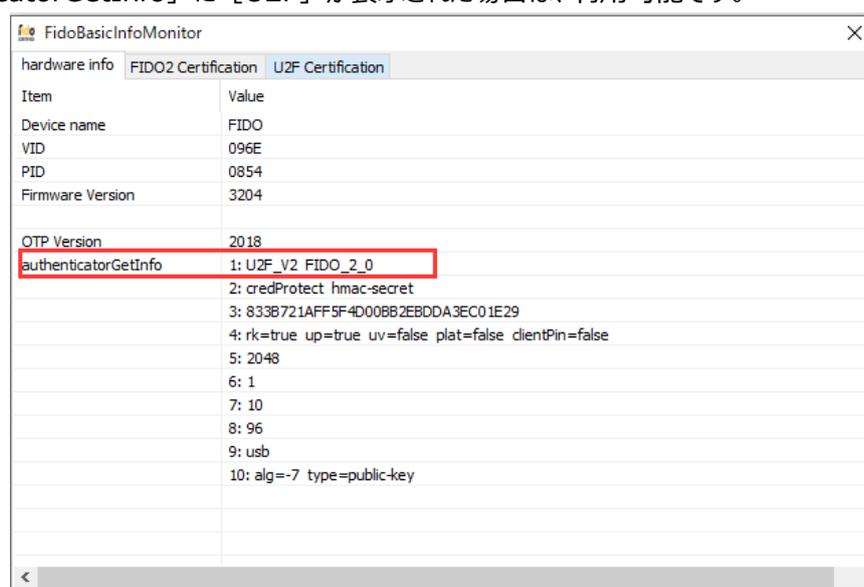
詳細：ユーザーのセキュリティキーを登録する際に、「このセキュリティキーは使用できません。別のセキュリティキーを使用してください。」エラーが発生します。暫くすると、「登録試行の期限が切れました」エラーに代わります。



回答：ご利用している FIDO キーが U2F を対応していない可能性が考えられます。

下記方法で確認してください。

- 1、 <https://fido.ftsafe.com/get-security-key-information/> にアクセスします。
- 2、 <https://download.ftsafe.com/files/FIDO/FidoBasicInfoMonitor.exe> より [FidoBasicInfoMonitor.exe] をダウンロードしてください。
- 3、 [FidoBasicInfoMonitor.exe] を実行し、FIDO キーを接続して、[authenticatorGetInfo] に [U2F] が表示された場合は、利用可能です。



もし U2F が表示されていない場合は、該当 FIDO キーが Salesforce に利用できません。

**質問 2 : FIDO キーが紛失した場合は、どうすれば良いでしょうか。**

回答 : Salesforce 管理者でログインして、該当ユーザーの設定画面に [セキュリティキー (U2F)] の右側の [削除] をクリックすると、FIDO キーが削除できます。



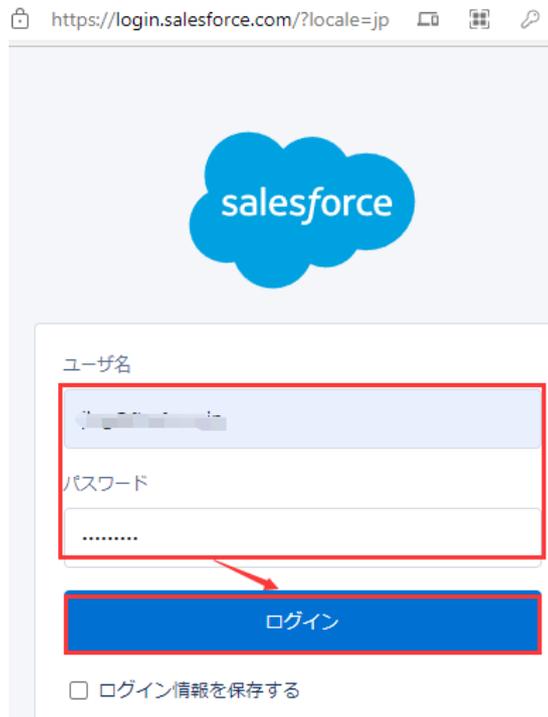
FIDO キーを入手したら、再度登録すれば、利用可能になります。

**質問 3 : FIDO キーと [Salesforce Authenticator] を併用可能でしょうか？**

回答 : はい、可能です。

既に [Salesforce Authenticator] を利用している場合は、下記方法で登録できます。

1、Salesforce のログイン画面でユーザ名とパスワードを入力します。



- 2、 [モバイルデバイスを確認] 画面の下に [お困りですか] をクリックし、「別の認証方法を使用してください」をクリックするします。



- 3、 [Universal Second Factor (U2F) キーを使用] を選択して、[次へ] をクリックすると、FIDO キーの登録や認証ができます。

